

株式会社 イード

「2021年6月期（FY6/21）」

第3四半期 決算補足説明資料

2021年5月14日

iid










- 1 FY21_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響
通期業績予想について P.13
- 3 セグメントの概要 P.16
- 4 基本情報 P.20



- 1 FY21_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響
通期業績予想について P.13
- 3 セグメントの概要 P.16
- 4 基本情報 P.20

売上高および各段階利益ともに、3Q累計比較で過去最高＊を更新。

(当期純利益は2Qに実施した連結子会社株式の一部売却の影響を含む) ＊上場後の3Q累計比較による

	FY6/20_ 3Q累計	FY6/21_ 3Q累計	前年同期比
売上高	3,978	4,170	 104.8%
売上原価	2,187	2,213	101.2%
売上総利益	1,791	1,957	 109.3%
販売費及び一般管理費	1,461	1,511	103.4%
営業利益	329	446	 135.5%
営業利益率	8.3%	10.7%	+ 2.4pt
経常利益	330	482	 146.0%
当期純利益	248	552	 222.2%

(百万円)

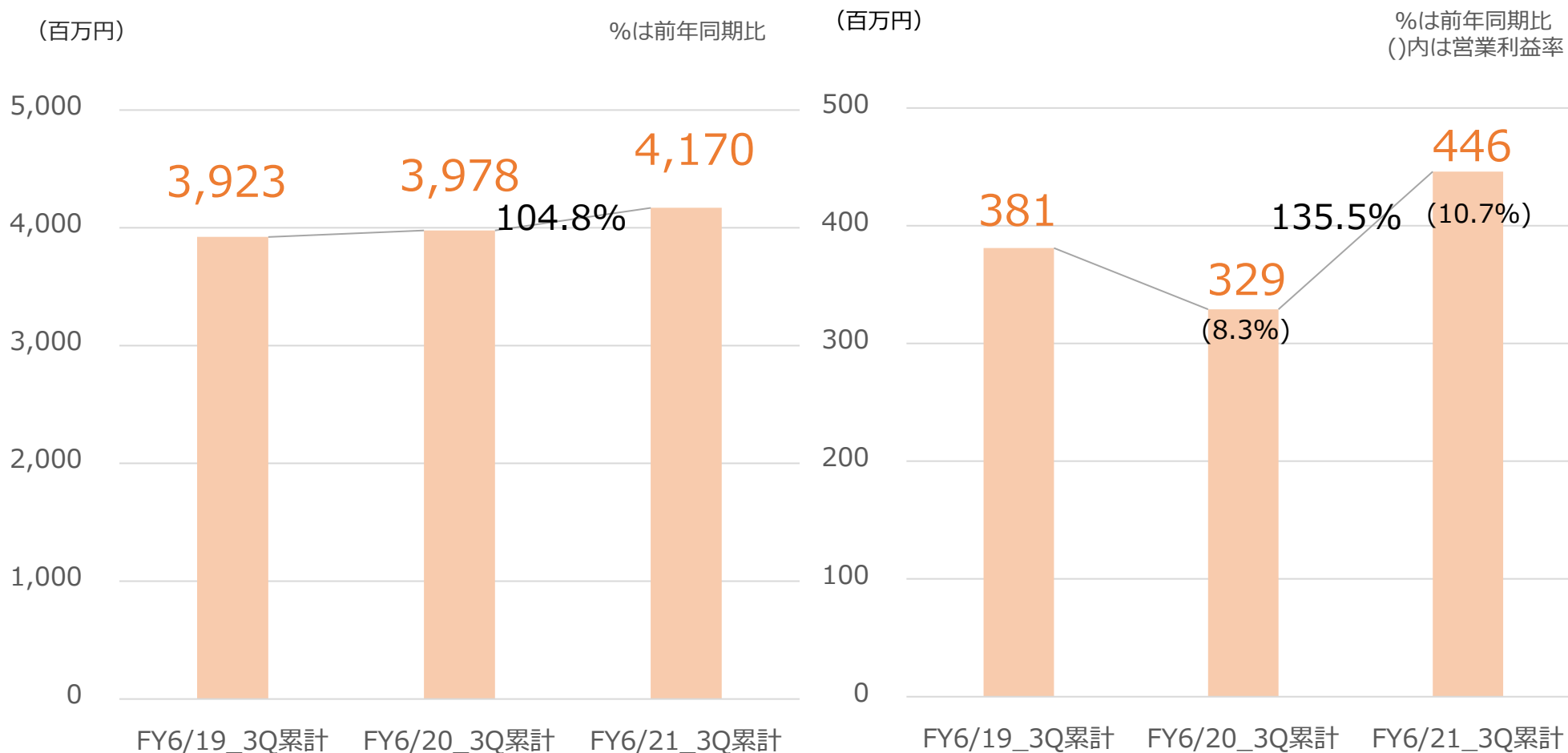
※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

売上高は堅調に推移。営業利益は前年比135.5%と大幅な増加となり、過去最高*を更新。

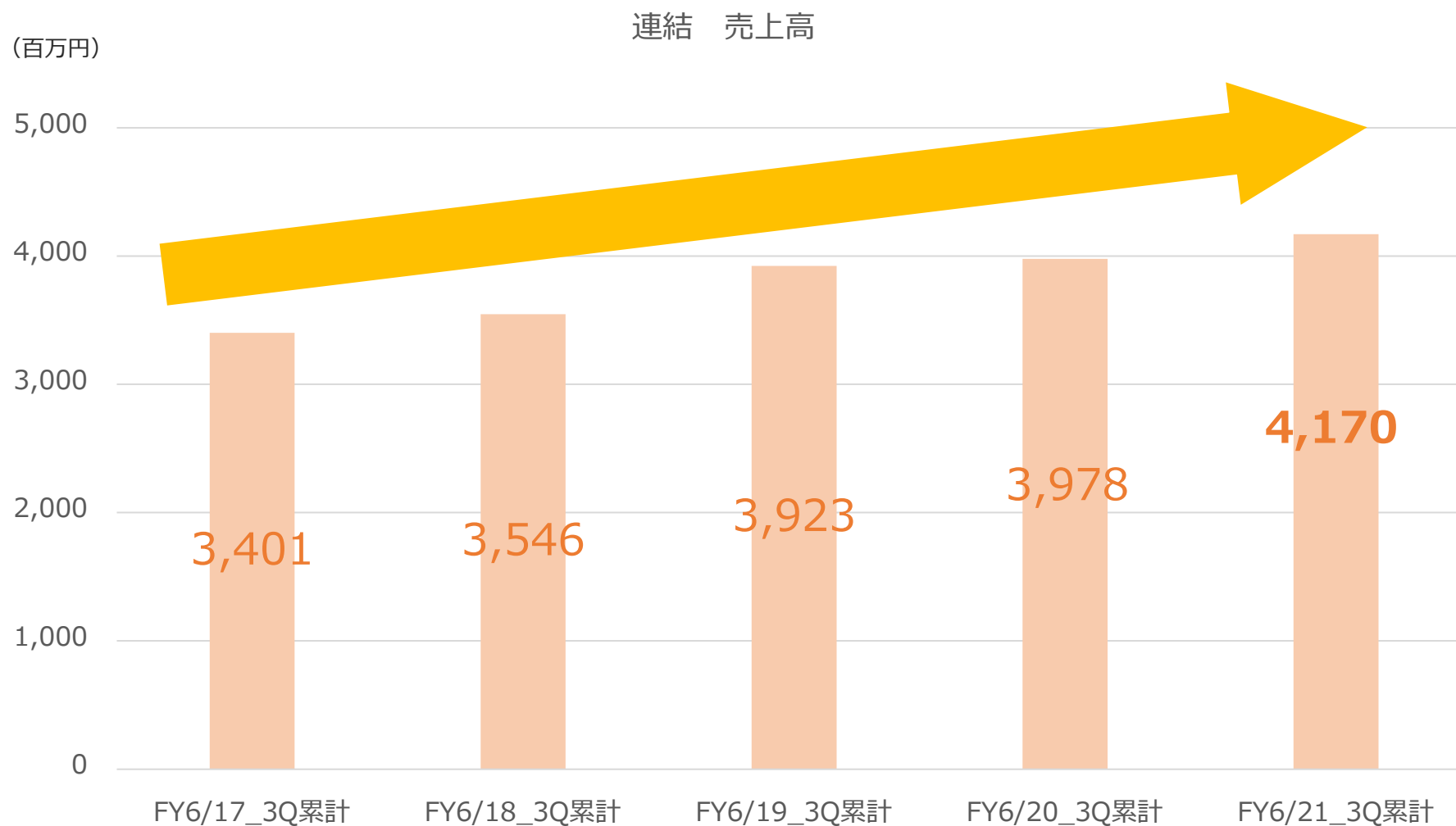
*上場後の3Q累計比較による

連結 売上高

連結 営業利益

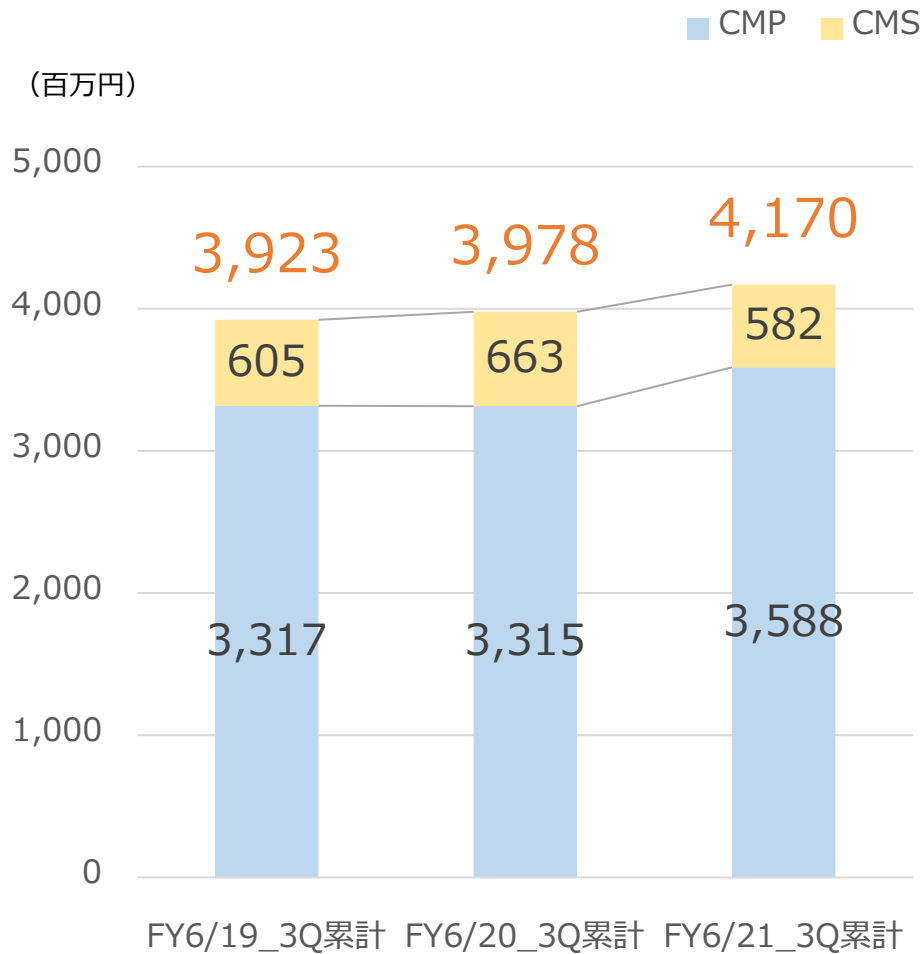


連結売上高は、引き続き過去最高を更新

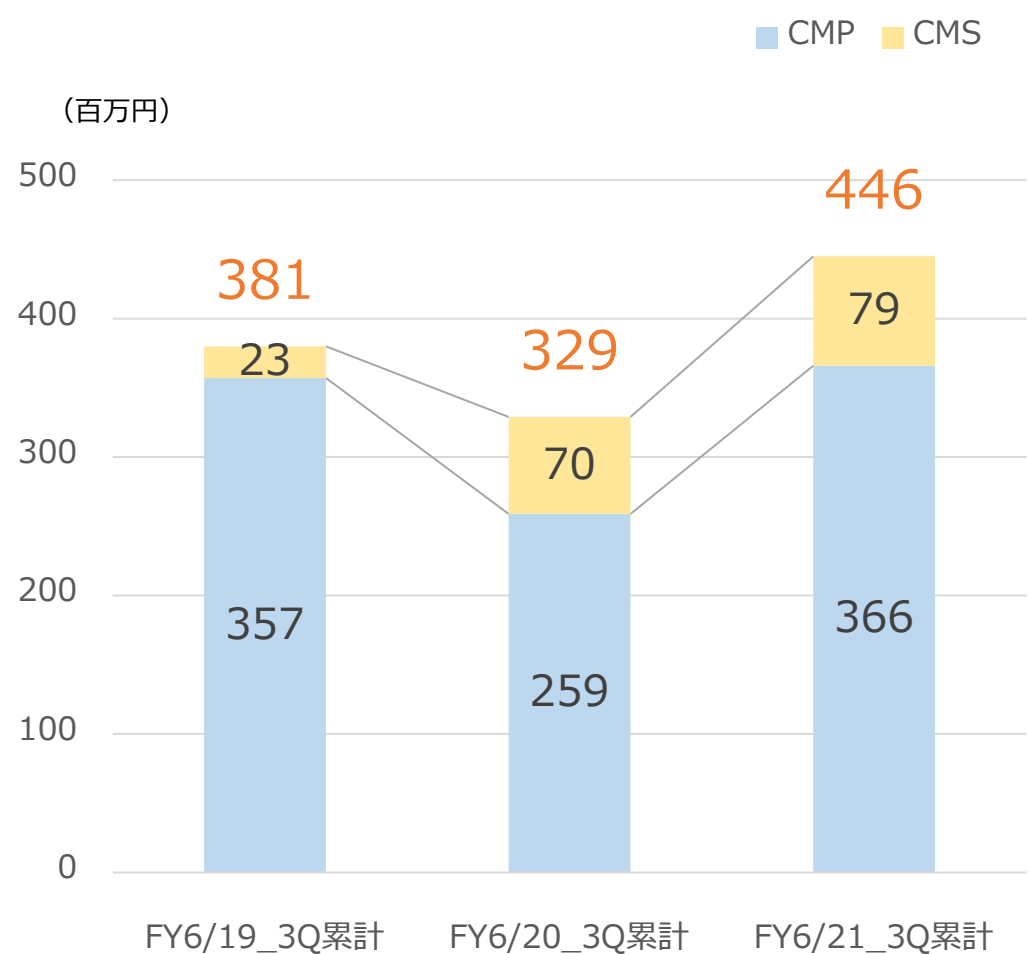


売上高、営業利益ともに従来どおりCMPが連結全体を牽引

連結 売上高

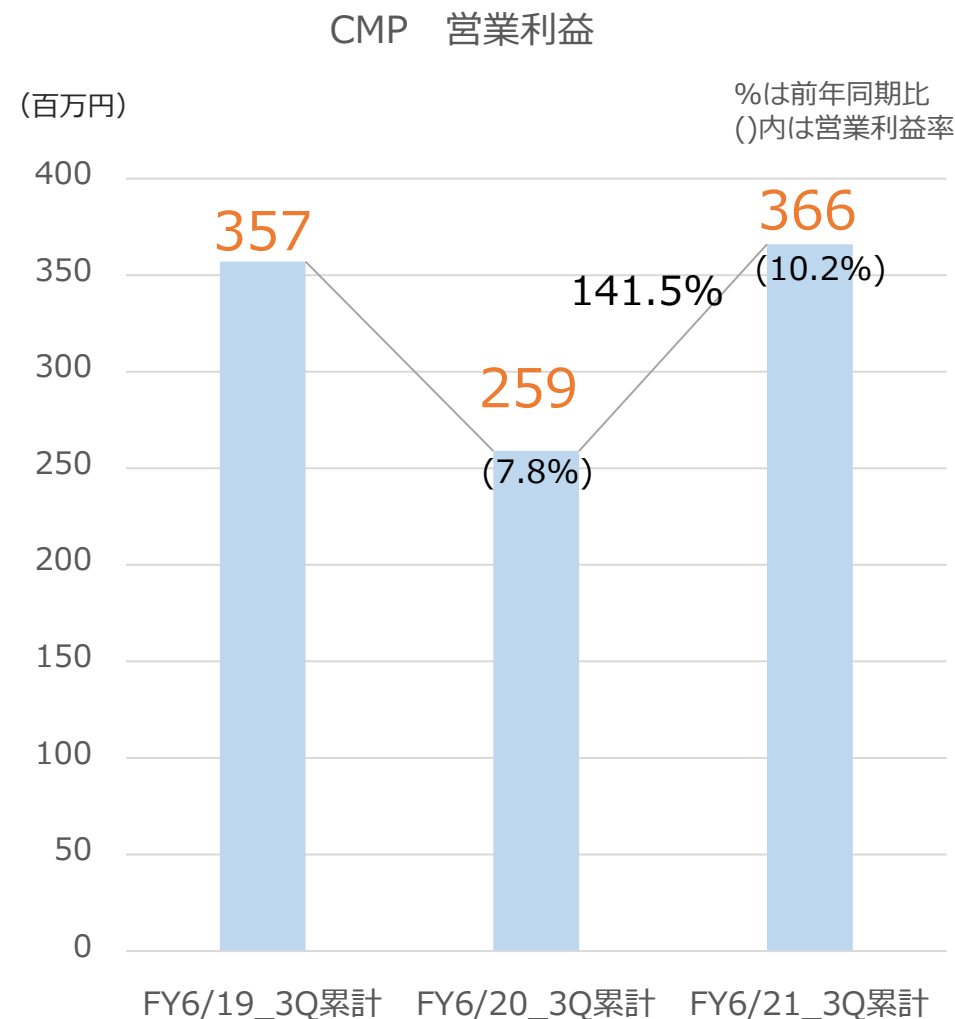
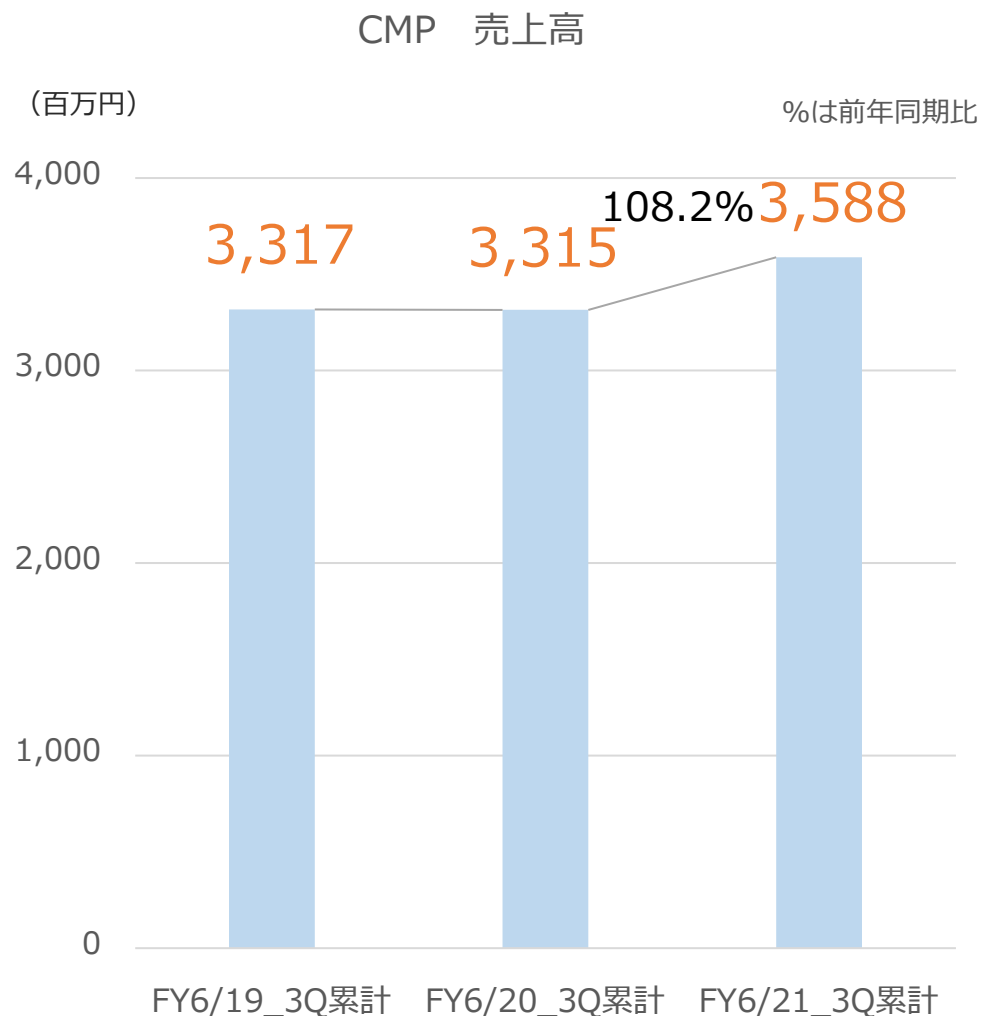


連結 営業利益

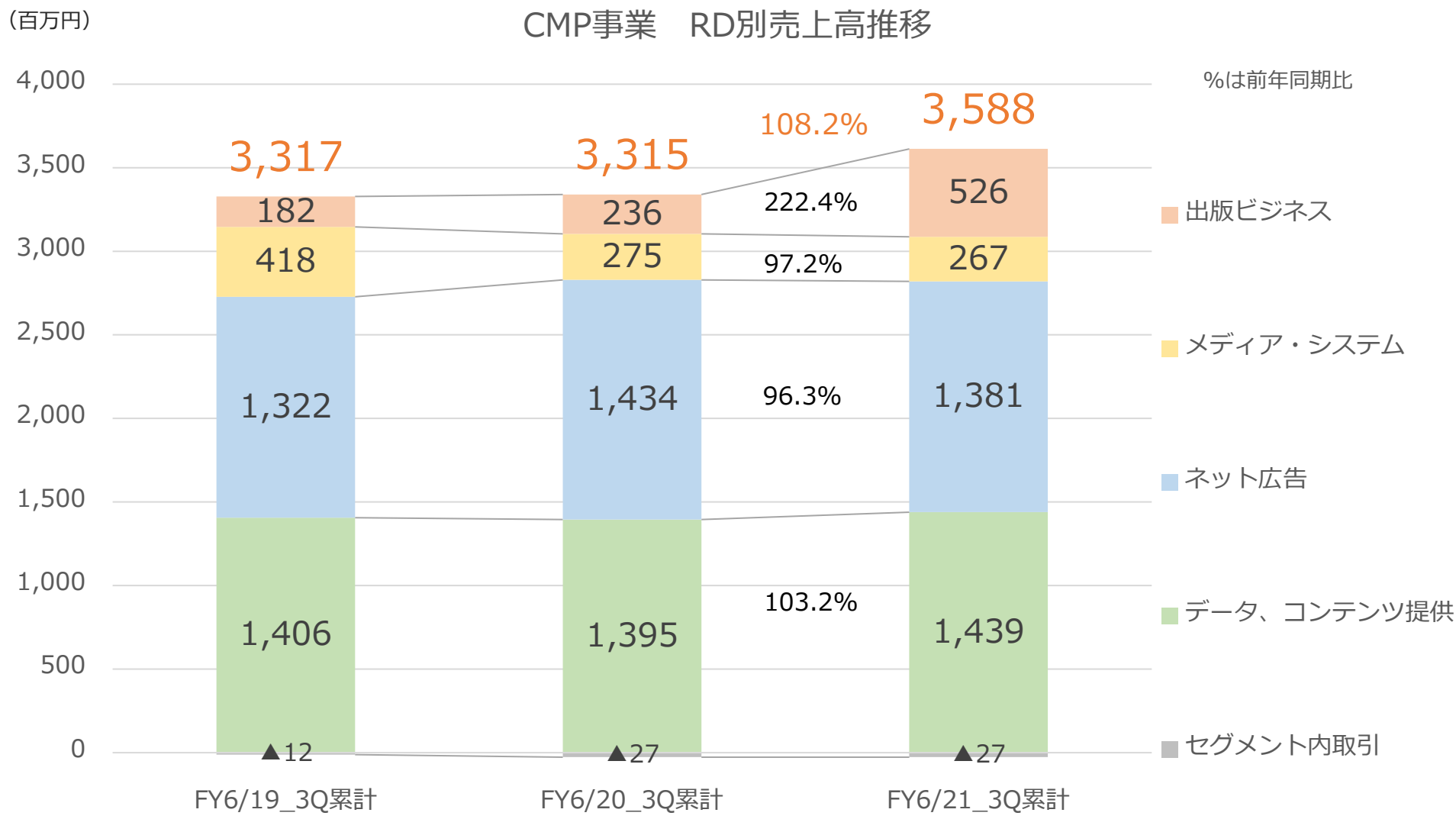


売上高、営業利益ともに堅調。営業利益は過去最高*を更新。

*上場後の3Q累計比較による



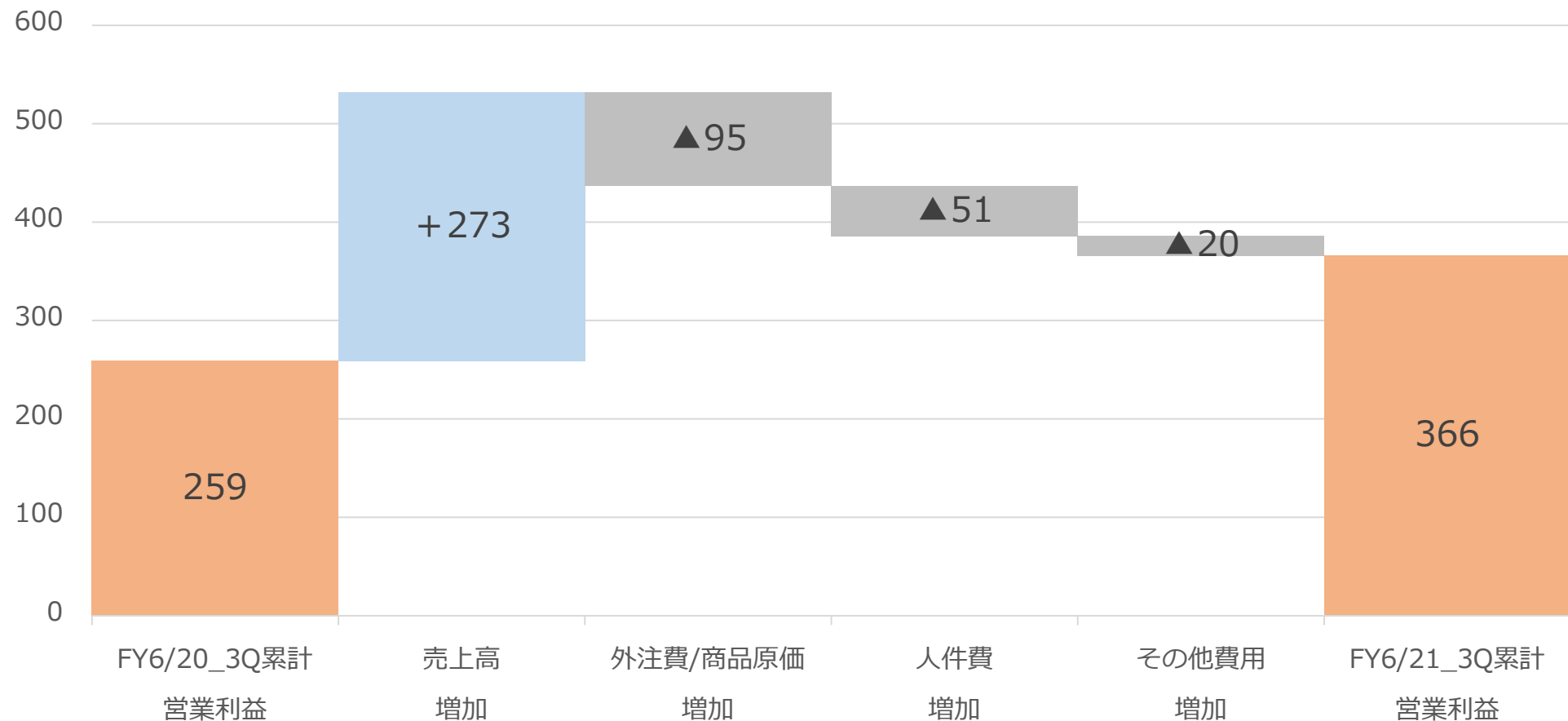
コロナウイルスの影響により、出版ビジネスおよびデータ・コンテンツ提供(EC物販含む)は増加



売上高の増加に伴い外注費／商品原価の増加 前期および当期にM&Aした事業等による人件費の増加

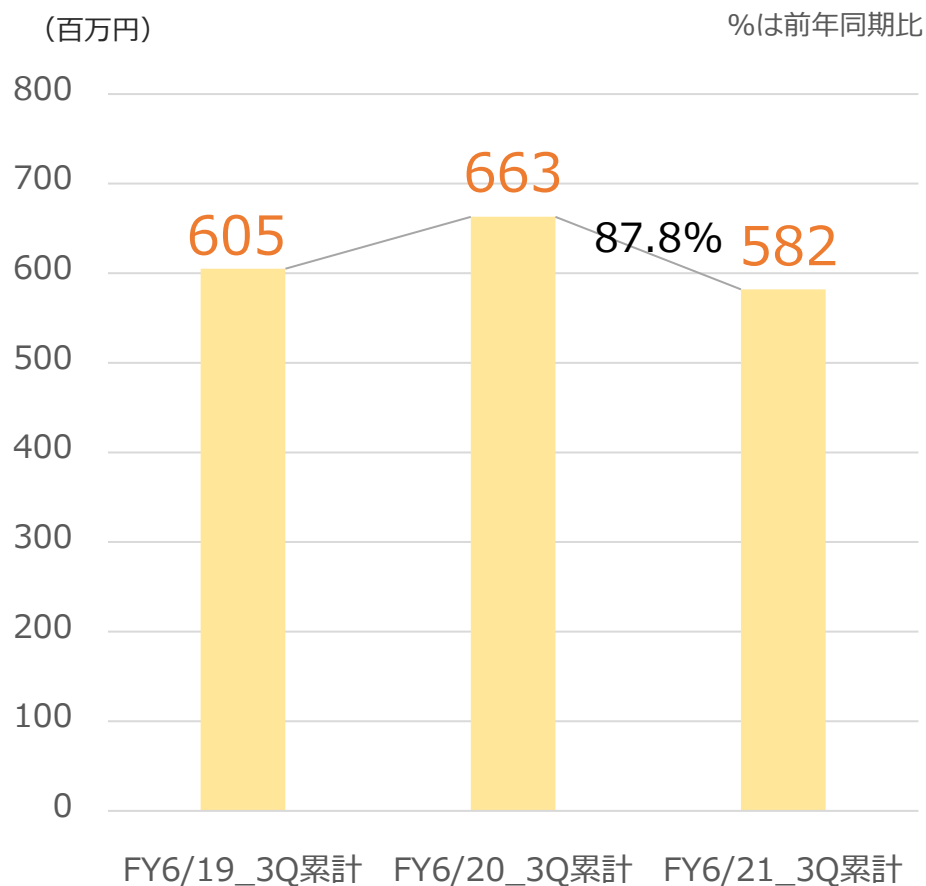
(百万円)

営業利益 前年同期比増減要因

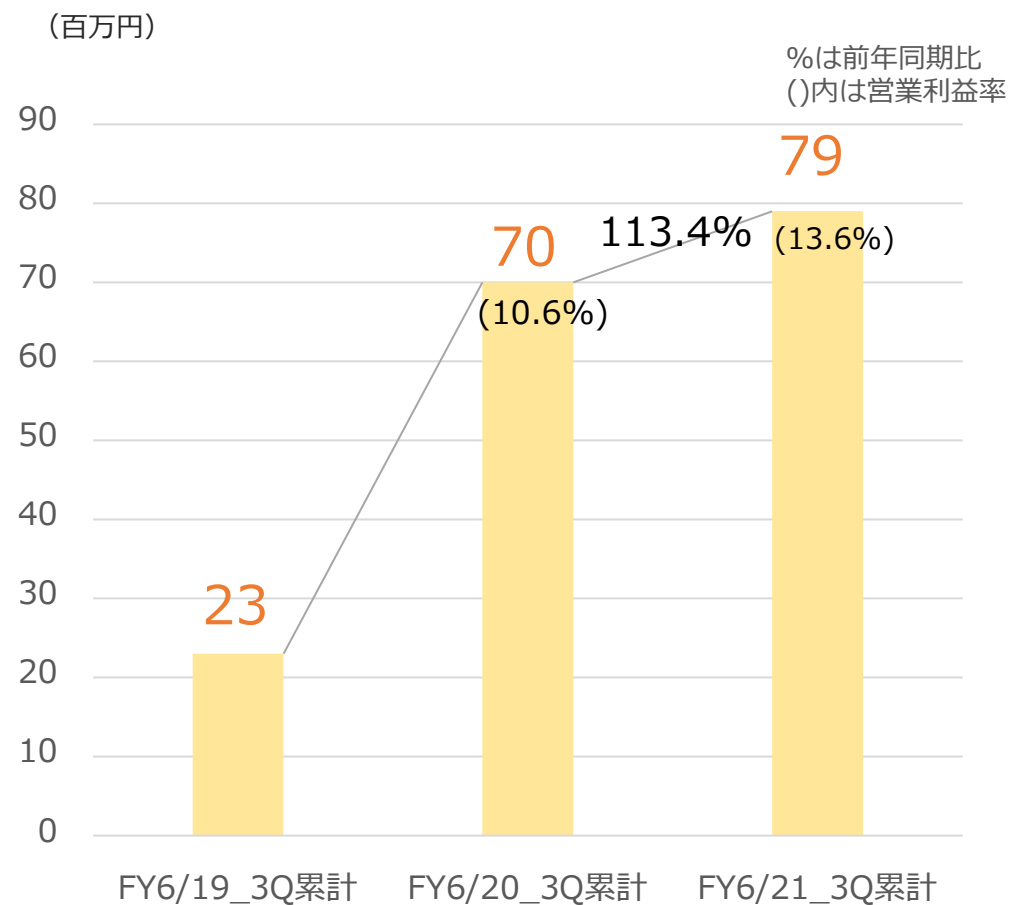


前年は大型案件があったため、売上高は減少したが、営業利益および利益率は改善

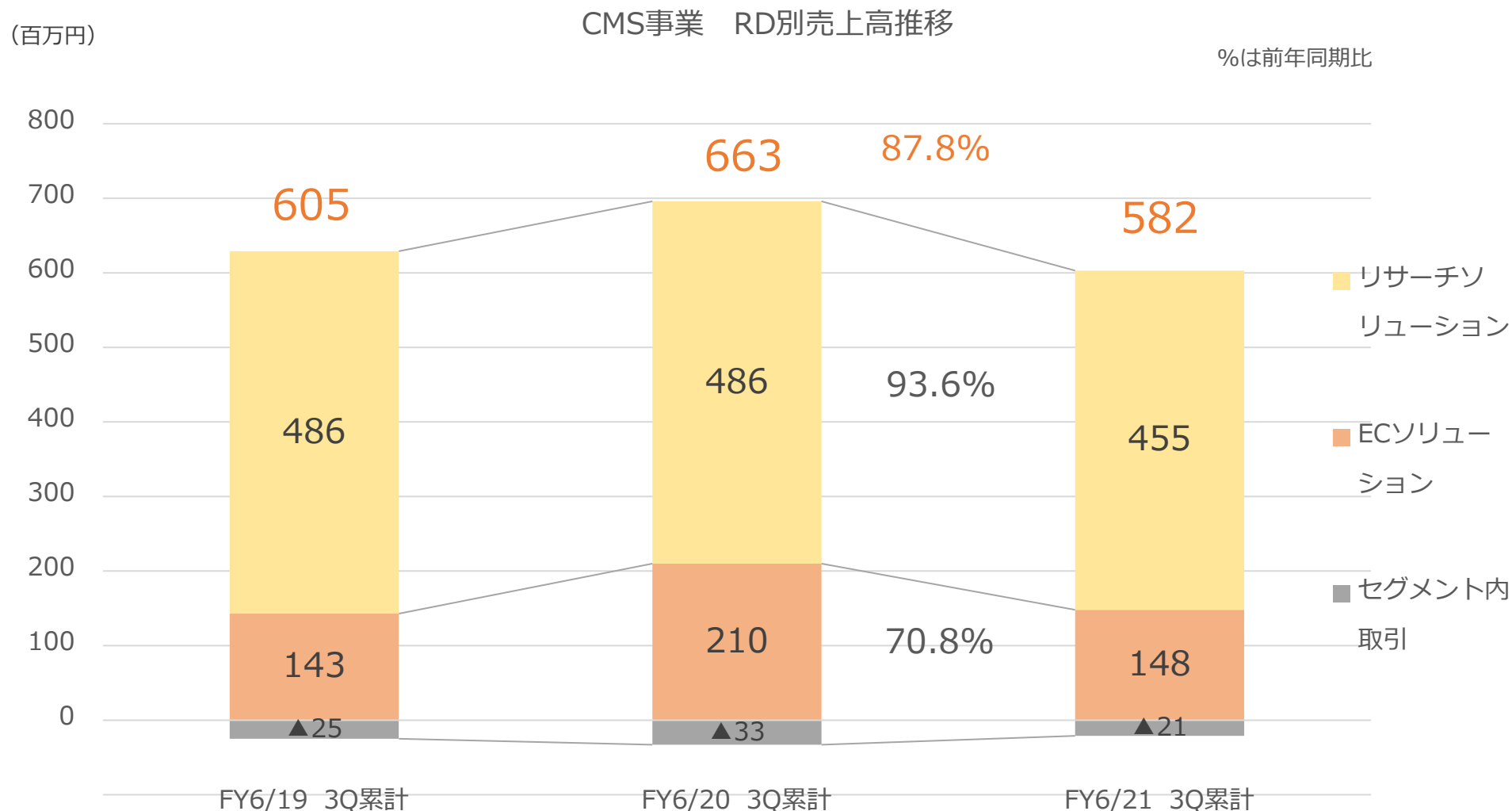
CMS 売上高



CMS 営業利益



リサーチ・ECソリューションとともに、前年より大型案件の受注が減少（リサーチは主にコロナの影響による）



当期純利益※の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加し、純資産は増加。

(百万円)

	FY6/20 期末	FY6/21 3Q末	増減額
流動資産	3,062	3,774	+712
現金及び預金	2,014	2,684	+670
固定資産	916	1,052	+136
資産合計	3,978	4,827	+849
流動負債	859	917	+58
固定負債	150	373	+223
負債合計	1,009	1,291	+282
株主資本	2,895	3,471	+576
利益剰余金	1,174	1,727	+553
自己株式	▲35	▲34	+1
その他の包括利益累計額	1	1	+0
非支配株主持分	72	63	▲9
純資産	2,969	3,536	+567
負債・純資産	3,978	4,827	+849

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。



1 FY21_3Q累計業績の概要 P.2

2 新型コロナウイルスの影響
通期業績予想について P.13

3 セグメントの概要 P.16

4 基本情報 P.20

■CMP・CMSセグメントの主要RDへのコロナの影響（3Q）

ネット広告	○	◆1月に2回目の緊急事態宣言発出となったが、多くの顧客の期末である3月にかけて、広告出稿意欲は回復基調となった
データコンテンツ提供(含EC物販)	○	◆「巣ごもり消費」から始まり「EC拡大・定着化」 ※EC物販事業は、絵本ナビが連結から外れたため3Qは前期を下回る
出版ビジネス	○	◆「巣ごもり」の影響で「アニメ雑誌」「パズル雑誌」が好調 (アニメ雑誌は、引き続き「鬼滅の刃」ブームも追い風に)
ECソリューション	○	◆急激なECシフトを受けて、EC開設や機能向上の支援が好調
リサーチソリューション	○	◆多くの顧客の期末である3月にかけて、受注は回復基調となった

※各セグメント・各RDともバランス良く好調であった

■本社オフィスを移転し、オフィス環境を一新

※2021年1月 本社オフィスを移転（東京都新宿区 → 中野区）

- ・より柔軟で働きやすいオフィス環境 → 全社フリーアドレス化・リモートワーク推進
- ・より生産的な業務環境へ → 一層のデジタル化推進
- ・オフィス総面積の縮小等 → **家賃コストの大幅削減**

■現状と今後の見通し

2021年に入ってから、新型コロナウイルス感染症は第3波、第4波と波状的に拡大・収束を繰り返しているが、そのような状況下にあっても、各種対応施策が奏功し当3Q累計期間（2020年7月～2021年3月）においては、上場後の同期間比較において過去最高の業績（売上高、各段階利益とも）を上げることができた。

一方、当4Q（4月～6月）においては、多くの顧客企業の期初であり1年の中で最も閑散期にあたること、また翌期に向けた戦略投資的な費用の支出も見込んでいることから、利益の積み増しは想定しない。

■2021年6月期 通期業績予想

通期業績予想は、新型コロナウイルスの感染症による影響を合理的に算定することが困難につき未定としていたが、今般、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ以下のように算定。

	通期業績予想	前期通期実績	前期比
売上高	5,300	5,266	100.6%
営業利益	400	315	126.9%
経常利益	410	277	147.7%
当期純利益※	460	104	442.1%

（百万円）

* 3Qから株式会社絵本ナビが連結から外れている

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

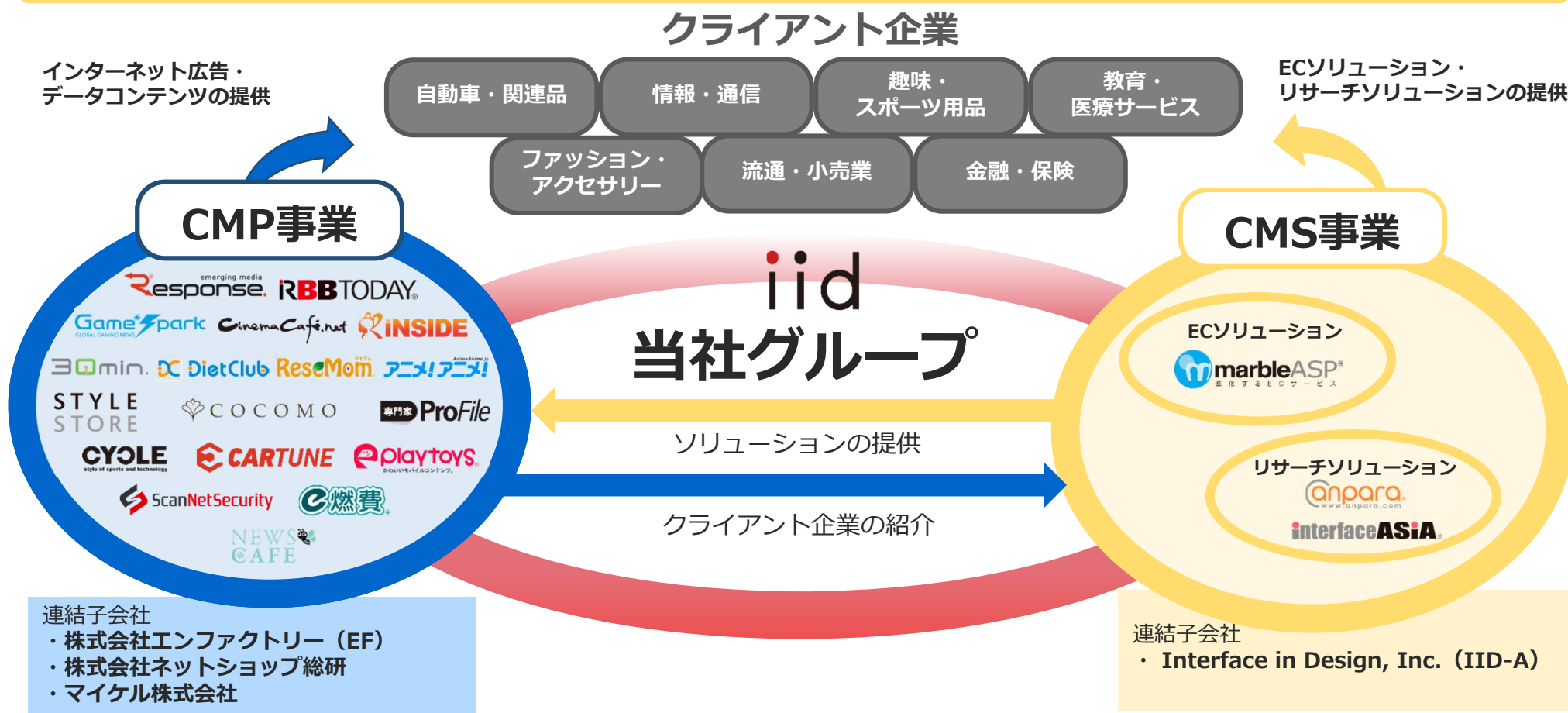


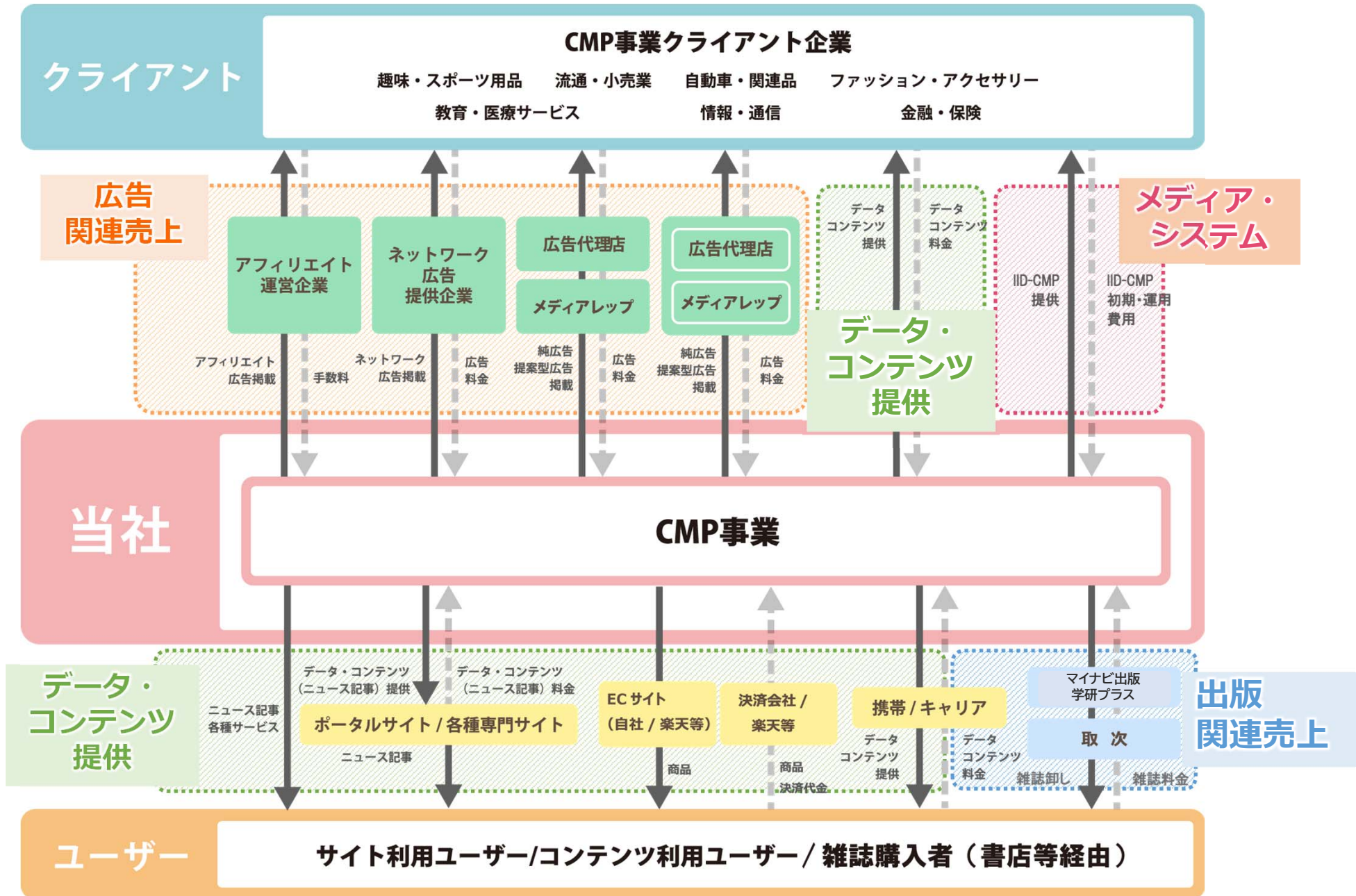
- 1 FY21_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響
通期業績予想について P.13
- 3** セグメントの概要 P.16
- 4 基本情報 P.20

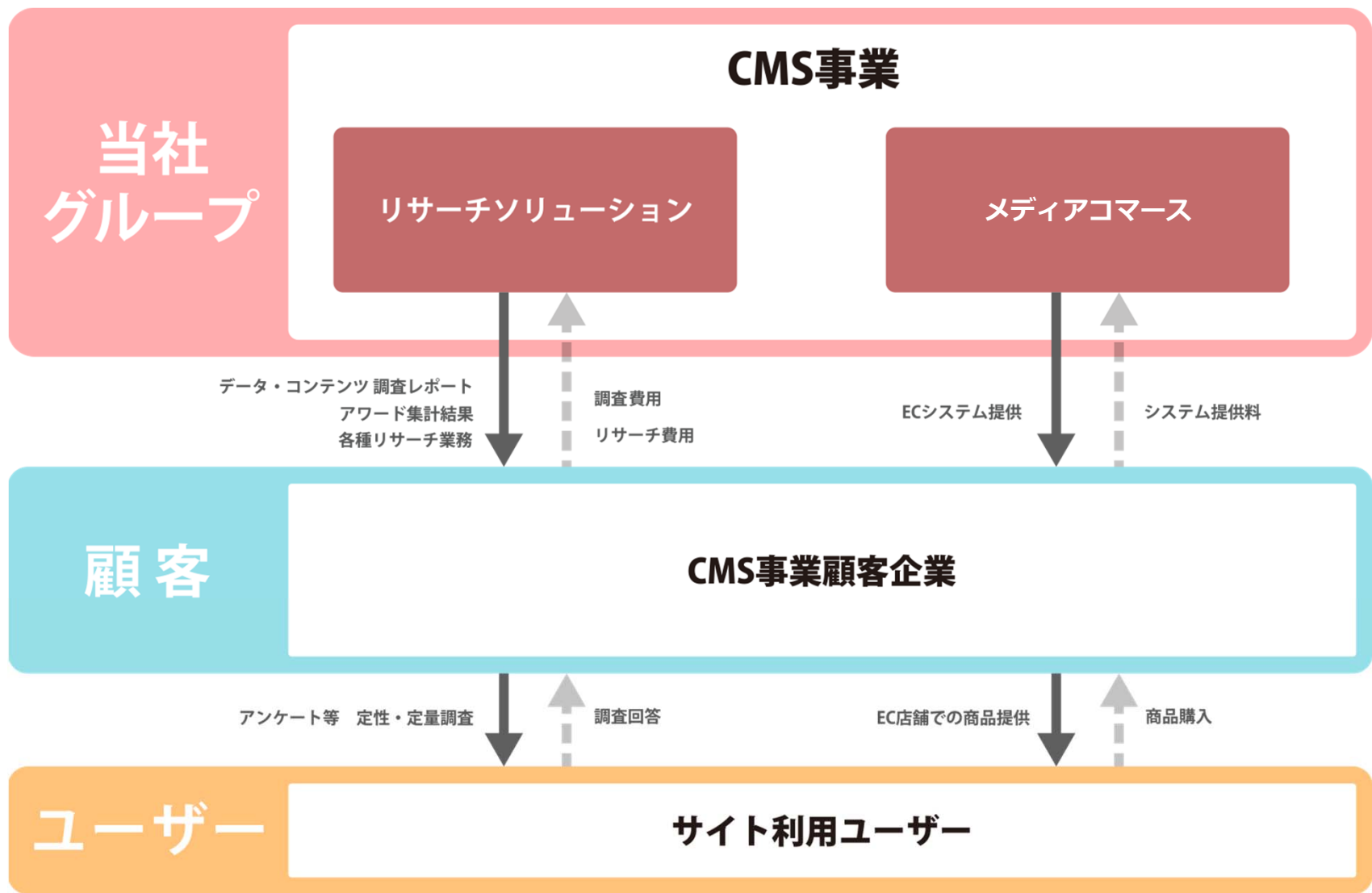
・ 2つのセグメントにて事業を展開

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）：Webメディア、Webサービス運営

コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）：ソリューションを提供









- 1 FY21_3Q累計業績の概要 P.2
- 2 新型コロナウイルスの影響
通期業績予想について P.13
- 3 セグメントの概要 P.16
- 4 基本情報 P.20

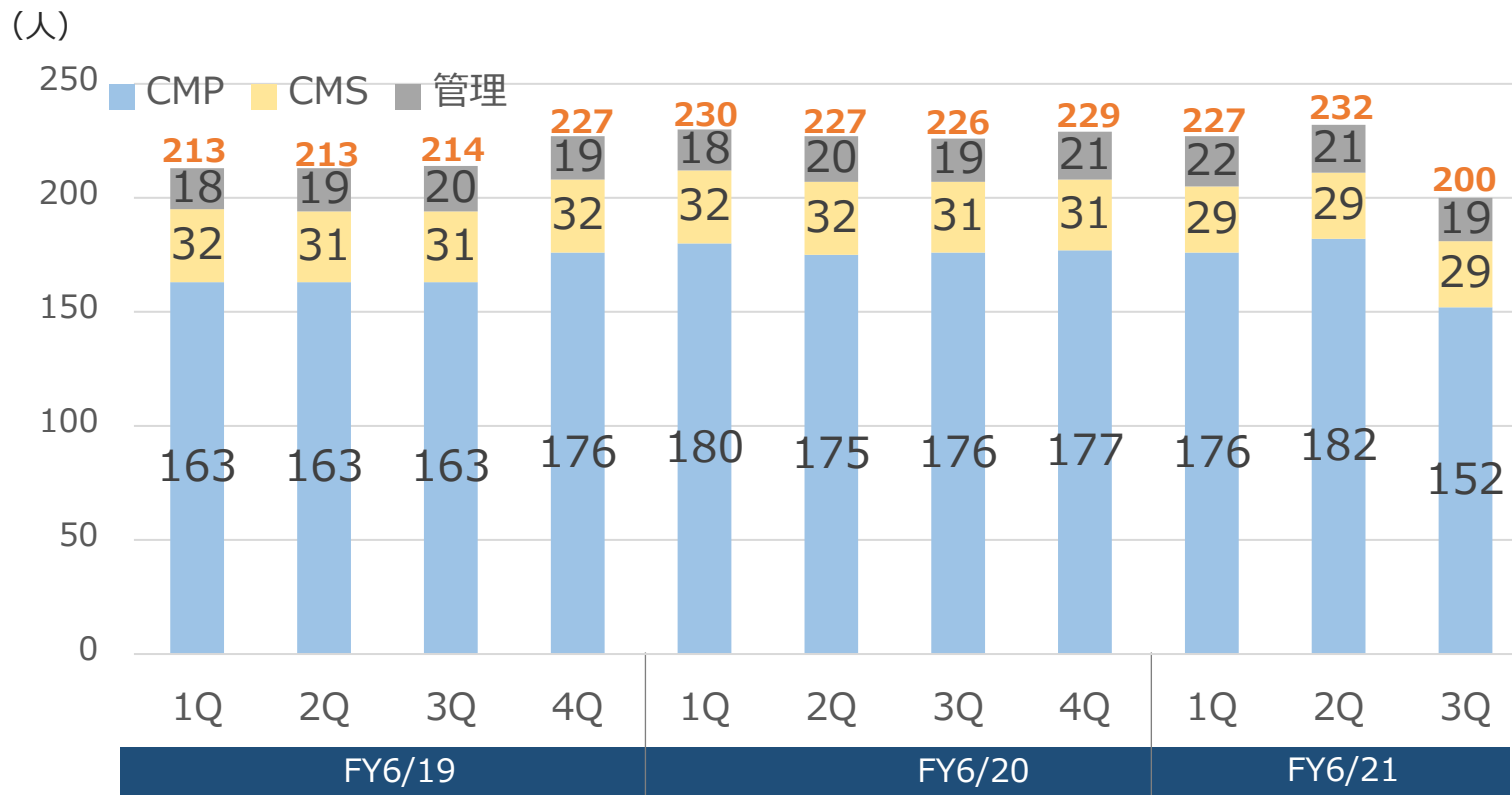
- 商号 株式会社イード (IID,Inc.) ※「IID」は“Interface In Design”の略です。
- 設立年月日 2000年4月28日
- 役員
 - 代表取締役 宮川 洋 (みやかわ ひろし)
 - 取締役 須田 亨 (すだ とおる)
 - 社外取締役 大和田 廣樹 (株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長)
 - 社外取締役 吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)

 - 常勤監査役 山中 純雄
 - 社外監査役 安達 美雄
 - 社外監査役 藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)
- 子会社
 - 株式会社エンファクトリー (出資比率：78.8%)
 - Interface in Design, Inc. (同：100%)〔所在地：米国ロサンゼルス〕
 - 株式会社ネットショップ総研 (同：90%)
 - マイケル株式会社 (同：100%)

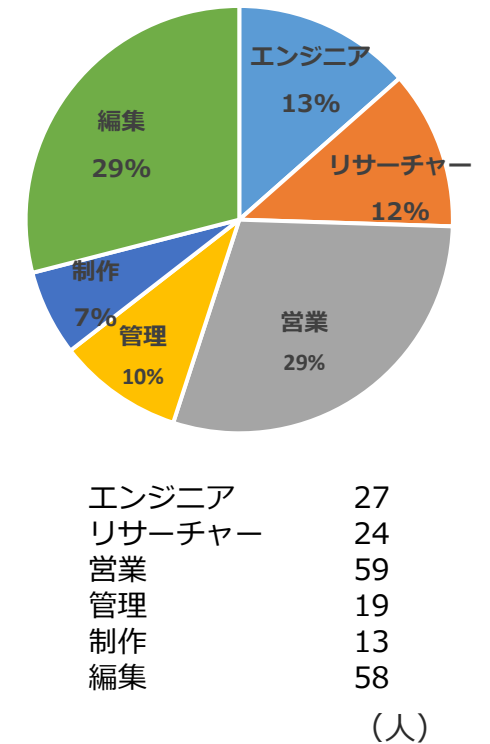
※株式会社絵本ナビは、第2四半期会計期間において、株式の一部売却により、連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しております。
- 従業員数 連結：200名 (アルバイト含む)

・エンジニア、編集、制作で半数を占める構成

-セグメント別従業員数推移-
(臨時従業員含む)



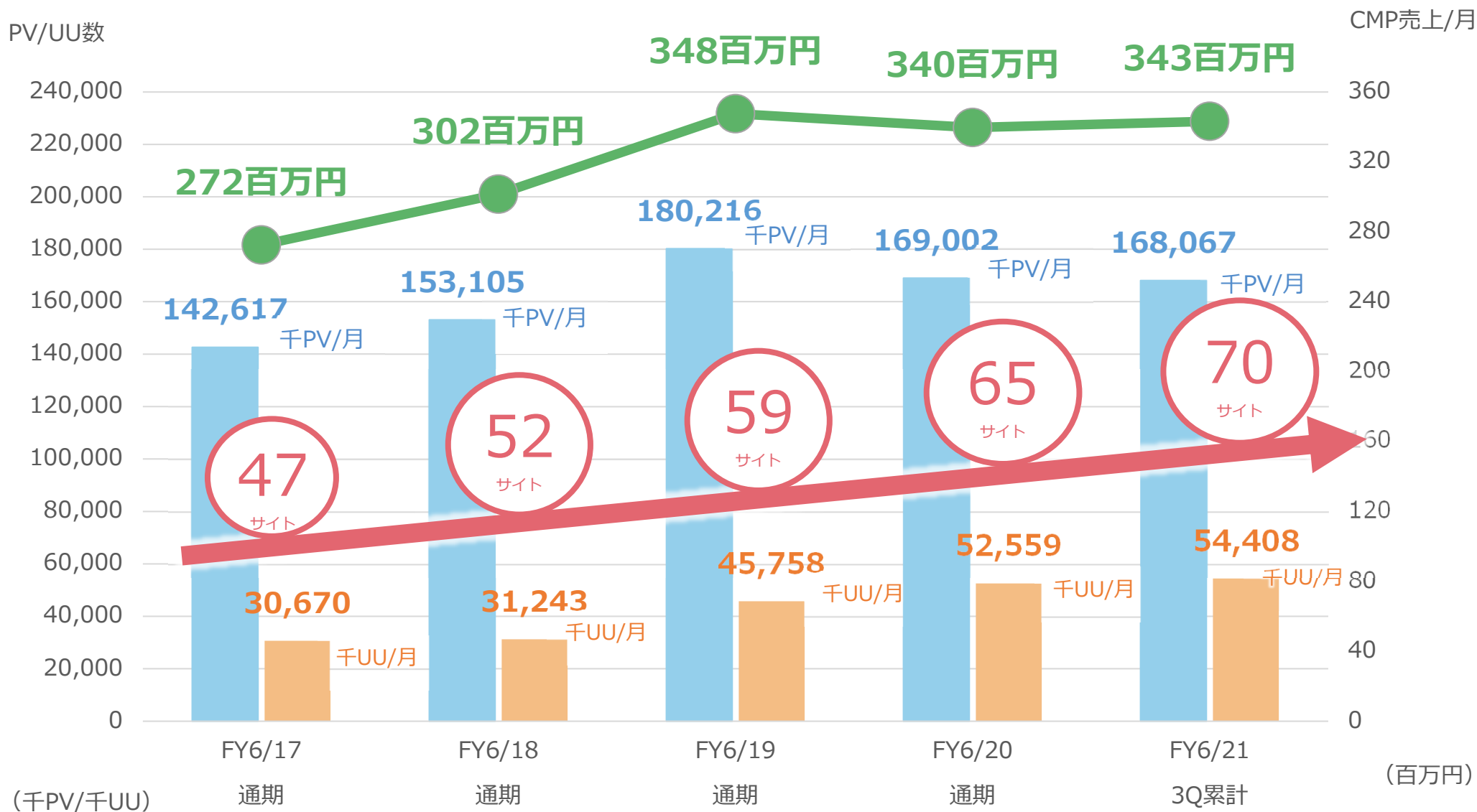
-職種別従業員構成-
(臨時従業員含む)



※株式会社絵本ナビは、第2四半期会計期間において、株式の一部売却により、連結子会社から持分法適用関連会社へ変更したため、FY21_3Q人員数では絵本ナビ人員数を除いております。

PV/UU・サイト数・売上 推移 ※FY6/21 3Q末現在

■ PV ■ UU ※PV数、UU数は対象期間月平均値
 ■ CMP事業（出版ビジネスは含まない）の月平均売上



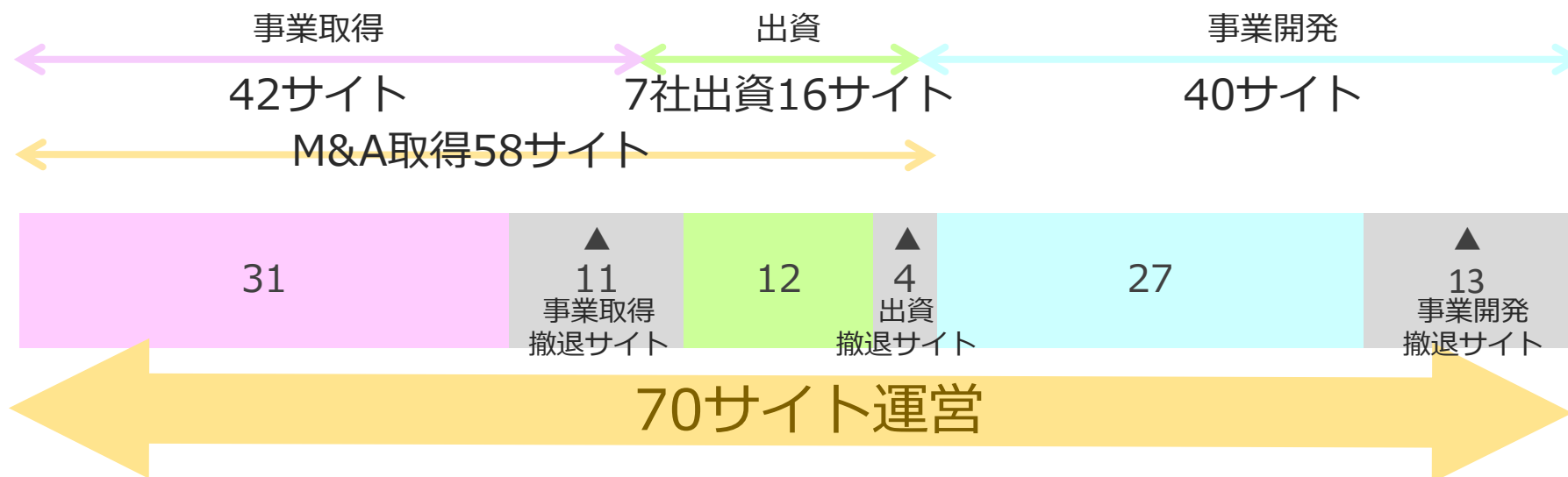
主要運営メディア



メディアジャンル

- IT
- ビジネス
- セキュリティ
- リサーチ
- ユーザビリティ
- 自動車
- 燃費・環境
- エンタメ
- ゲーム
- 映画
- アニメ
- キャラクター
- スポーツ
- 教育
- ライフ・ペット
- ダイエット
- 結婚情報
- マネー
- 地域情報
- EC・通販
- ビジネスマッチング

・ M&Aで58サイト取得。撤退サイトは15サイト。継続率 74.1%



● M&Aサイト実績

58サイトの取得総額は17億9,887万円。1サイト平均3,100万円で取得

事業取得総額 **9億9,359万円**

※撤退サイト含む

出資総額 **8億528万円**

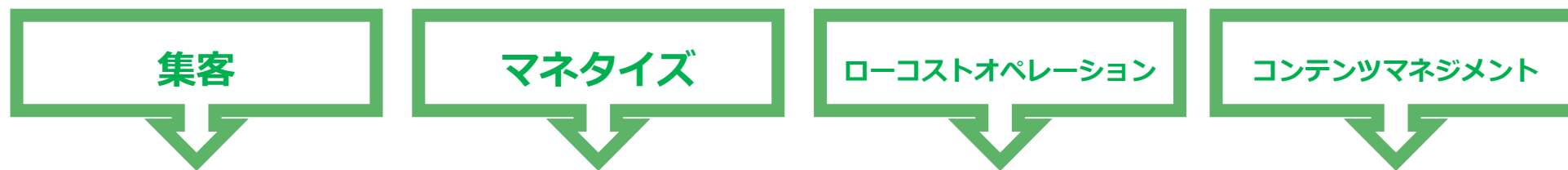
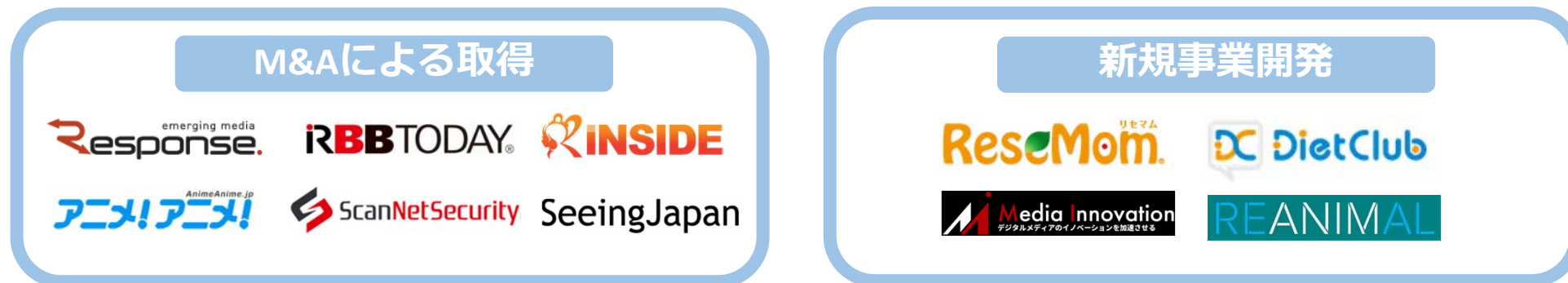
※撤退サイト含む ※CMS事業及び出版事業は含んでおりません

● 戦略投資先 (抜粋)

新規事業領域での協業を目的に戦略的な出資を実施

- ・ note (株) : クリエイター向けC2Cプラットフォーム「note」を運営
- ・ キャンピングカー (株) : シェアリングエコノミー、MaaS領域
- ・ ロボットスタート (株) : 音声広告プラットフォーム領域
- ・ (株) エンペイ: 集金業務のキャッシュレス化を実現するFintech×Saasプラットフォーム「enpay」を運営

・ M&Aなどで新たに加わったメディアを「iid-CMP」にて運用



・「iid-CMP」の4つの機能で、早期収益化を実現

① 集客

- ・ SEO施策
- ・ SNS対応
- ・ Webページ高速表示
- ・ スマートフォン含めた最適なユーザビリティ、ユーザーエクスペリエンス

売上UP

② マネタイズ

- ・ ネットワーク広告の最適化
- ・ 広告商品開発
- ・ 営業リソースの投入
- ・ 既存メディアとのクロスセールス

売上UP

③ ローコストオペレーション

- ・ システムの共用、CPUリソース分散機能
- ・ ポータルサイトへのニュース記事提供フォーマット共有化
- ・ 記事交換機能

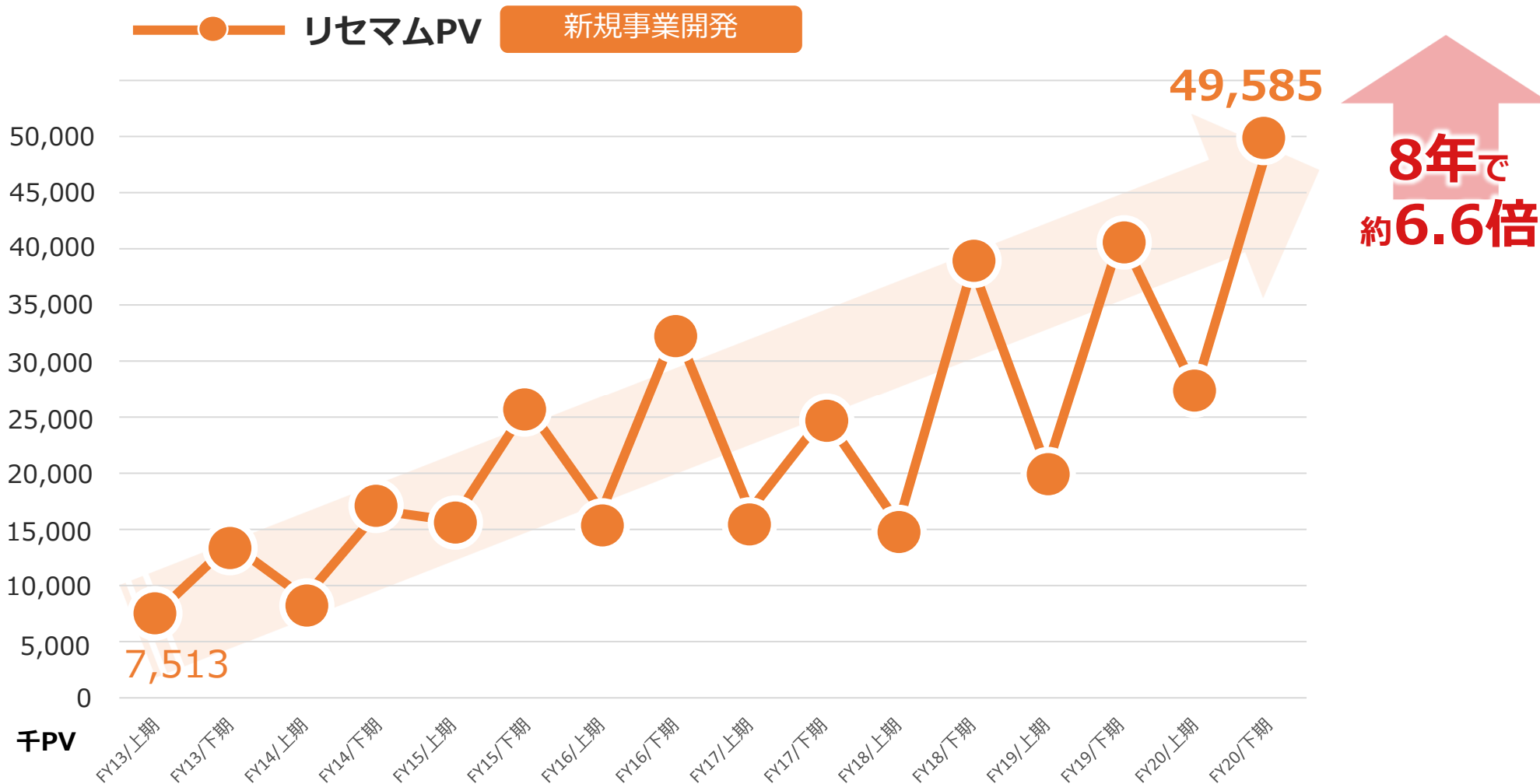
コスト最適化

④ コンテンツマネジメント

- ・ ニュース記事、ニュース写真投稿
- ・ 文章校正、類似度チェック、盗用コンテンツの公開防止

編集効率化

- 「iid-CMP」上でのサイト運用によるSEO施策や記事交換機能等によりサイト規模が拡大



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

iid

We are the User Experience Company.

株式会社 イード

www.iid.co.jp